

# 令和5年（2023年）度行政評価シート

令和 5 年 6 月 23 日

評価者	市民防災部長 永野 英樹
-----	--------------

## ○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	6-(1) 産業振興	施策の方針	6-(1)-②商工業振興の充実
目標とするまちの姿	<p>中小企業の経営革新や経営基盤の強化が図られるとともに、市内企業の事業拡大や新たな産業の立地等により、産業が活性化し、雇用の創出が図られています。 また、新たな魅力の創出による商店街の活性化、伝統的工芸品の保護・育成が図られています。</p>			
主な取組	<p>(1) 地域の特性を生かした商店街の活性化 商店街が「物販・サービスの場」としてだけでなく、「まちの顔」、「地域コミュニティの場」として賑わうよう、地域の特性を生かした商店街づくりを支援します。</p> <p>(2) 中小企業の支援 事業者や商工団体との連携を強化するとともに、経営相談や融資・補助制度の充実、受注機会の拡大を図ることで、中小企業の創業、経営安定、事業拡大、経営革新を支援します。</p> <p>(3) 新たな産業の誘致等による雇用の創出やイノベーションの誘発 市内企業の事業拡大を支援するとともに、深沢地域整備事業や低未利用地の公的不動産の活用を中心に新規成長産業をはじめとする企業の誘致や、コワーキングスペース等の整備によるテレワーク環境の充実により、市内での雇用の創出やイノベーションの誘発を図ります。</p> <p>(4) 伝統工芸の伝承及び事業活動の支援 市内で唯一の伝統的工芸品である鎌倉彫の保護・育成を目的とした事業活動や、販売促進に向けた支援を行います。</p>			

## 1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

### 市民防災部

<p>目標とするまちの姿の実現に向け、商工業振興計画(働くまち推進計画)を策定するとともに、引き続き中小企業等に対しては、中小企業融資制度、各種補助制度などにより支援し、商店街に対しては、共同施設整備、商店街活性化のための事業に対する補助制度などにより、支援を行っていく。 また、市内で唯一の伝統的工芸品である鎌倉彫については、講習会や体験教室などの支援や、販路拡大への支援を行っていく。 これらにより、中小企業の経営革新や経営基盤の強化、市内企業の事業拡大や新たな産業の立地等による産業の活性化及び雇用の創出を目指すとともに、新たな魅力の創出による商店街の活性化、伝統的工芸品の保護・育成を図っていく。 また、鎌倉商工会議所が鎌倉応援「その場で割引」キャンペーン事業を実施するにあたり、キャンペーンの目的である市内事業者の事業継続、市内経済の活性化及びキャッシュレス決済環境の整備の達成のため補助を行い支援する。</p>
---

## 2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	1,679,990	362,067	620,364			
人件費	40,132	37,500	36,022			
総事業費	1,720,122	399,567	656,386	0	0	0

### 3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	市民-19	商工運営事業		771	1,519	2,290	現状維持	S	現状維持
	市民-20	中小企業支援事業		309,427	9,436	318,863	現状維持	S	現状維持
	市民-21	商工会議所助成事業		14,667	760	15,427	現状維持	S	現状維持
	市民-22	商店街振興事業		11,898	6,836	18,734	現状維持	S	現状維持
重	市民-23	商工業振興事業		277,090	14,432	291,522	拡充	S	拡充
	市民-24	公衆浴場助成事業		2,451	760	3,211	現状維持	A	現状維持
	市民-25	伝統鎌倉彫振興事業		4,060	2,279	6,339	現状維持	A	現状維持

### 4. 評価対象年度の主な実施内容

#### 市民防災部

商工業振興計画(働くまち推進計画)の策定を行った。  
 中小企業融資制度、各種補助制度などにより中小企業への支援を行った。  
 商店街に対しては、共同施設整備、商店街活性化のための事業に対する補助制度などによる支援を行った。  
 鎌倉彫については、講習会や体験教室などの実施に係る支援や販路拡大、また令和2年度から延期していた鎌倉彫コンペティションの開催に係る支援を行うなど、事業活動を支援した。  
 また、国費を活用し、鎌倉商工会議所が実施した鎌倉応援「その場で割引」キャンペーン事業に対する補助を実施し、商店街の街路灯等維持管理費補助金の補助率を上げるとともに、公衆浴場の電気料金・ガス料金及び省エネ設備導入の負担軽減のため、神奈川県補助事業にあわせて補助を行った。

#### ※実施できなかった事業とその理由

### 5. 成果指標

成果指標①		市内事業所における従業者数 (鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)					出典	経済センサス活動調査		
	平成28年	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	68,800	目標値	69,000	69,200	69,400	69,600	69,800	70,000	人	令和3年度実績値は令和3年経済センサス活動調査速報値
		実績値	未実施	66,970	未実施					
		達成率	—	96.8%	—				%	
成果指標②		市内の事業所数 (鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)					出典	経済センサス活動調査		
	平成28年	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	7,226	目標値	7,250	7,270	7,290	7,310	7,330	7,350	事業所	令和3年度実績値は令和3年経済センサス活動調査速報値
		実績値	未実施	7,050	未実施					
		達成率	—	97.0%	—				%	

<b>成果指標③</b>		身近な商店街において、便利で魅力的な買い物ができると思う市民の割合					<b>出典</b>	市民アンケート調査		
	令和2年1月	<b>年次</b>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	<b>単位</b>	<b>備考</b>
初期値	49.1	<b>目標値</b>	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0	%	
		<b>実績値</b>	未実施	53.0	57.4					
		<b>達成率</b>	—	103.9%	110.4%				%	

## 6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

### 市民防災部

成果指標①及び②については、平成28年経済センサス活動調査の結果をもとに初期値を設定し、そこからの推計を指標としているが、活動調査は5年に1度の調査であり、毎年の成果指標としては実績の確認が難しいが、令和4年度に策定した鎌倉市商工業振興計画（働くまち推進計画）に基づき、次回調査までに従業者数及び事業所数が目標値に到達するよう取り組んでいく。

成果指標③については、商店街団体の努力により商店街の魅力アップが図られていることから、引き続き団体の存続や実施事業に対し支援していく。

## 7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

### ※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係（達成状況とその理由）

#### 「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

### 市民防災部

商工業振興計画（働くまち推進計画）の策定を完了し、働く場の確保と働く環境の整備に向け、今後の方針を明確にすることができた。また、コロナ禍で令和2年度、3年度に中止した姉妹都市物産展を開催し、姉妹都市交流に貢献したことから、施策の方針を達成できた。

通常の中小企業者等への支援策と並行して、鎌倉応援キャッシュレスその場で割引キャンペーンを補助事業として実施するなど、コロナ禍における各団体・企業・創業者等への支援策を実施することができ、施策の方針を達成できた。

公衆浴場助成事業では、燃料費高騰の影響により、神奈川県が実施した補助制度にあわせ市内公衆浴場を支援した。

伝統鎌倉彫振興事業では、鎌倉彫出荷数は減少傾向にあるものの、認知度向上・販路拡大のための民間企業との連携や一般参加のコンペティション開催など新たな取り組みを行った。

## 8. 今後の方向性

### 市民防災部

目標とするまちの姿の実現に向け、策定した商工業振興計画（働くまち推進計画）に基づき、既存事業の推進・見直し等行う中で、引き続き中小企業等に対しては、中小企業融資制度、各種補助制度などにより支援し、商店街に対しては、共同施設整備、商店街活性化のための事業に対する補助制度などにより、支援を行っていく。

また、市内で唯一の伝統的工芸品である鎌倉彫については、講習会や体験教室などの支援や、販路拡大への支援を行っていく。

これらにより、中小企業の経営革新や経営基盤の強化、市内企業の事業拡大や新たな産業の立地等による産業の活性化及び雇用の創出を目指すとともに、新たな魅力の創出による商店街の活性化、伝統的工芸品の保護・育成を図っていく。

## 9. 今年度（評価年度）の目標

### 市民防災部

引き続き各種支援を行うとともに、神奈川県が行うベンチャー支援施策の拠点「HATSU鎌倉」と連携し、若年者等の起業準備者に対し、起業に向けた考え方を整理し、ノウハウを習得するためのプログラムを実施し、社会起業家の育成及び起業家同士のネットワークの構築を図る新規事業を実施し、創業支援に力を入れていく。